

ブゼンノギク

学名 *Heteropappus hispidus* (Thunb.) Less. subsp. *koidzumianus* (Kitamura) Kitamura

目名

目名学名

科名 キク科

科名学名 Compositae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)



【選定理由】

県北地方に広く分布する凝灰岩の岩場に生育する。越年草であるが、よく繁殖している。人里近い生育地では、土地の改変や人による採取が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 玖珠丘陵地・山地
分布域	九州(佐賀・大分)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の岩場。
現 状	県北地方の凝灰岩の岩場に生え, 良好な生育地を多くみかける。寺院周辺では消滅した所がある。
備 考	九州北部地域の特産種。基準標本産地[耶馬溪町耶馬溪]。国定公園指定植物[耶馬日田英彦山]。